

令和2年度 事業実施報告

| | |
|-------|--|
| 事業名 | さくらであい館 講演会 背割堤と水防災の歴史講座 |
| 日時 | 令和2年11月8日(日) 14時から16時 |
| 場所 | さくらであい館(京都府八幡市) |
| 参加者数 | 約30名 |
| 概要 | <p>水防災の視点で、背割り堤を作ることになった歴史的・文化的背景を知り、これからの水防災について考えるきっかけとなることを目的に2つの講演を行った。</p> <p>テーマ1:「水害が関係する巨椋池・三川合流域の河川整備」 講師:鈴木康久(京都産業大学教授、BY ネット副代表幹事) 内容:巨椋池、三川合流の変遷と向島における天保期の水害、江戸の河川管理</p> <p>テーマ2:「淀川における3大水害」と巨椋池遊水地構想 講師:澤井健二(日本水防災普及センター理事長・BY ネット代表幹事)・柳沼宜裕(京都芸術大学非常勤講師・日本水防災普及センター事務局長) 内容:明治時代の伊加賀切れ、大正時代の太塚切れ、昭和28年の宇治川決壊および巨椋池干拓地遊水地構想</p> |
| 実施結果 | <p>江戸期の絵図と古文書を資料として、木津川、宇治川、桂川、鴨川の河川管理者と管理方法についての説明があり、江戸期の河川管理の概要について学んだ。</p> <p>昭和28年の巨椋池の決壊の状況、住民の災害に対する意識について学んだ。</p> |
| 資料 |   |
| ふりかえり | <p>淀川河川公園が主催し、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、NPO 法人日本水防災普及センターの協力での開催は、協働の新たな形であり、今後の継続の可能性を示すことができた。</p> <p>BY ネットのメンバーだけでなく、様々な水関係団体の方々があり。連携を図る意味からも意義な場となった。</p> |